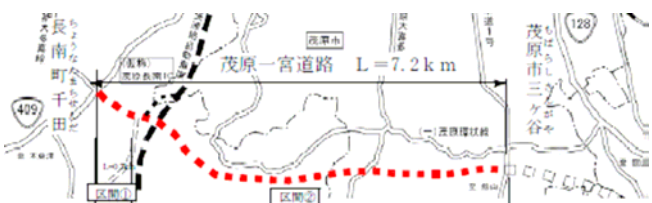


再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 地域高規格道路 茂原・一宮・大原道路 一般国道409号茂原一宮道路	事業区分 一般国道	事業主体 千葉県 延長 7.2km
起終点 自：千葉県長生郡長南町千田 至：千葉県茂原市三ヶ谷		
事業概要 一般国道409号茂原一宮道路は、地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」の一部を構成するとともに、首都圏中央連絡自動車道と連絡し、外房地域と首都圏地域の交流機能の強化等を目的とした、延長7.2kmの2車線道路。		
H12年度事業化	都市計画決定 なし	H13年度用地着手
H14年度工事着手		
全体事業費	149億円	事業進捗率 30%
計画交通量	11,300台/日（平成42年度）	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.8	総費用 (残事業/事業全体) 93/142億円 事業費：86/136億円 維持管理費：6.6/6.6億円
		総便益 (残事業/事業全体) 169/169億円 走行時間短縮便益：158/158億円 走行費用減少便益：2.6/2.6億円 交通事故減少便益：8.3/8.3億円
基準年 平成21年		
感度分析の結果 (残事業) / (事業全体) 交通量：B/C=1.6~2.0/1.1~1.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.6~2.0/1.1~1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.7~1.9/1.0~1.3（事業期間±20%）		
事業の効果等 ・地域高規格道路として、アクアラインや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させるとともに、外房地域と首都圏との交通アクセス向上による連携機能の強化や、人や物の交流の活性化を促す交流機能の強化が図られる。・圏央道（仮称）茂原長南インターチェンジへのアクセス道路として機能。		
関係する地方公共団体等の意見 ・地元市町村で構成される整備促進期成同盟会からは、毎年要望を受けており（H21.10）、また、H21年9月県議会においても早期整備を求められたところである。		
事業評価監視委員会等の意見 ・事業を継続することが妥当である。 ・千葉県知事の方針：委員会の意見を受け、事業継続とした。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・圏央道の千葉県区間が木更津JCT～木更津東IC間約7.1kmの供用開始がなされ、さらに（仮称）茂原長南ICまでの間約21kmも整備が進んでいる。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・圏央道（仮称）茂原長南ICへのアクセス道路となる区間700mも、圏央道の整備に合わせた供用開始を予定。さらに、県道茂原大多喜線までの区間4kmの内、長南町区間3.3kmについては、ほぼ用地取得済みであることから、早期に工事着手するとともに、残る茂原市区間についても効率的に用地取得を行う予定である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業規模が大きいこと等から事業は長期化しているものの、事業は着実に進捗しており、今後は、県道茂原大多喜線までの間について、集中的に用地買収及び工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 ・道路幅員や交差点形状等の見直しを行い、全体事業費を176億円から149億円にコスト縮減を図った。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。